

2024 年度大学図書館シンポジウム

2030「デジタル・ライブラリー」 の実現に向けた取り組み

2024
12.10
TUE
13:30
|
16:00

2024年7月1日に「2030 デジタル・ライブラリー」推進に関する検討会から、「オープンサイエンスの時代にふさわしい「デジタル・ライブラリー」の実現に向けて～2030年に向けた大学図書館のロードマップ～」が公開された。

大学図書館が「デジタル・ライブラリー」を実現するにあたっての当面の目標である「2030年の大学図書館の望ましい姿」が描かれ、実現に向けた課題が整理されている。様々なあげられた課題の中から、今回のシンポジウムではオープンアクセスの推進、ならびに著作権・知的財産関連教育に着目し、先行する大学の取り組みを紹介いただいて今後の他大学の参考としたい。

要参加登録



定員 1,000 名
参加費無料



オンライン (Zoom) 開催

2030

DIGITAL LIBRARY

詳細は、国公立大学図書館協力委員会 HP (<https://julib.jp/>) まで

2024 年度大学図書館シンポジウム

2030「デジタル・ライブラリー」 の実現に向けた取り組み



開催日時：2024 年 12 月 10 日（火）13:30～16:00

開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

01 基調講演

オープンサイエンス時代にふさわしい「デジタル・ライブラリー」 の実現に向けて

【内容】

「2030 デジタル・ライブラリー」推進に関する検討会の主査の立場から、検討の経緯、また大学図書館が目指すべき姿について解説いただく。

【講演者】

竹内比呂也

【現職】

千葉大学 副学長、附属図書館長、アカデミック・リンク・センター長、大学院人文科学研究科教授

02 事例報告 1 オープンアクセスの推進について

【内容】

公的資金による学術論文等の即時オープンアクセス義務化の基本方針の発表以降、オープンアクセス推進の機運が急速に高まっている。オープンアクセス加速化事業に採択されている2大学から、現在まさに進行している取り組みについて報告していただく。

●研究 DX としてのオープンアクセスの推進
～横浜国立大学の取り組み～

【報告者】

松浦かな

【現職】

横浜国立大学 研究推進機構特任教員
(助教)・URA

●神奈川大学のオープンアクセス支援
～世界へ、そして未来へ～

【報告者】

小池孝昌

【現職】

神奈川大学 研究推進部研究推進課

03 事例報告 2 著作権・知的財産関連教育について

【内容】

2030 年に向けた「デジタルライブラリー」構想の課題として著作権（知財）教育とその専門人材の育成が挙げられている。

まず現在行われている取り組み等を整理・確認し、さらに実践例として山口大学知的財産センターの取り組みを報告していただく。

●2030「デジタル・ライブラリー」構想における著作権教育について

【報告者】

鈴木努

【現職】

早稲田大学 図書館利用者支援課長、
国公立大学図書館協力委員会大学
図書館著作権検討委員会主査

【報告者】

小川明子

【現職】

山口大学 大学研究推進機構知的財産セ
ンター長、国際総合科学部教授

2030 DIGITAL LIBRARY